

「研究グループ活動紹介 ひとひら工房（八幡平市）」

執筆者「八幡平農業改良普及センター 上席農業普及員 高橋 寿夫」

八幡平市から、規格外品のリンドウを活用した加工品開発に取り組む「ひとひら工房」を紹介します。

ひとひら工房は、八幡平市安代地区でリンドウに携わる女性を中心とした8名のグループで、「リンドウのもったいないを有効活用する」を合言葉に、平成30年から「規格外リンドウの有効活用方法の研究」とのテーマを掲げ、担い手育成特定資産事業を活用しながら以下の活動を行ってきました。

○ 規格外リンドウを活用した新商品開発

リンドウをドライフラワーやプリザーブドフラワーに加工する技術を習得したほか、加工したリンドウを使用したボタニカル雑貨の制作に取り組みました。

○ リンドウPR、販路拡大に関する調査研究

イベントや店頭での試験販売やアンケート調査を行い、リンドウのイメージ等を把握、アクセサリーなどのトレンドをリサーチし次の商品開発に活かしました。また、子供や大人への花育活動やワークショップによるリンドウPRを行いました。

現在は市内外3店舗での委託販売や各地関係機関と連携を図りながらワークショップ、花育活動を続けています。

今後もお客様のニーズに合わせた商品開発とイベント等での更なるリンドウの魅力発信を予定しており、益々の展開が楽しみです。



<制作したボタニカル雑貨>



<研究グループ会員の皆様>

(ひとひら工房のリーフレットより抜粋)